

木籠ふるさと便り

発行：
山古志木籠ふるさと会
会長：松井 治二
発行年月日：
平成 22 年 8 月 27 日



新郷見庵地鎮祭 ～10月震災記念日オープンを目指します～



【松井区長】 【関 議員】 【平井先生】 【金子部長】

地鎮祭には、郷見庵新築にご尽力頂いた市役所の金子部長をはじめ、ふるさと会顧問の平井先生と関議員がおみえになりご挨拶を頂きました。

木籠は大地震からの中山間地復興モデルとして、全国や世界各地から注目を集めているそうです。今後、新郷見庵を中心に私達がいっそう元気に立ち上がり、力を合わせて故郷を守っていくことが、今までお世話になった方々への恩返しとなり、新郷見庵のために力を尽くし見守ってくださる方々への感謝の気持ちでもあります。

8月15日、新郷見庵の地鎮祭が行われました。中越大震災の様子と、後の復興の歩みを展示したプレハブ郷見庵。水没した集落を訪れる人々に、木籠がたどった6年間の軌跡を知っていただく場として、沢山の方々をお迎えしてきました。その郷見庵が新しく「日本のふるさと木籠」の拠点として生まれ変わります。神主様から祝詞をあげていただき、皆で玉串を奉納し、厳かに儀式を終えました。



(上)お祓いの様子



(右)お神酒と塩を撒く大工さんと神主様
(下)玉串を奉納する木籠住民



一期一会 ～偶然の出会いと偶然の喜びを持ち帰ってもらいたい～

新郷見庵オープンにあたり、今までプレハブ・仮テントの郷見庵・直売所を見守ってきた集落のお母さん達とお話を伺いました！



【新郷見庵へのお気持ちを伺ったお母さん達】

「冷たい清水でトマトやスイカを冷やしてさ、みんなに食べてもらいたいね」「ガスや冷蔵庫が付くからちょっと料理して出すにも、洗いもんするにも楽になるて」「二階の休憩所で気楽にいっぶくしてってもらってさ、漬物とか山菜煮物食べて欲しいのう」「そうしながら地震のときの展示や、角突きのビデオなんか見てもらえたらいいえ」「野菜もいっぱいあるけど、ちょっと土産物になるものも置きたいね」・・・新しい郷見庵での期待は膨らみます。

地震以来、ほんのプレハブだった郷見庵に沢山の方々が訪れて展示をご覧下さり、復興への温かいメッセージやカンパを残してくださいました。テント張りの野菜直売所には、ちょっと一息と新潟県内はもちろん、全国各地から沢山の方々が立ち寄ってくださいました。清水やお茶を飲みながら数え切れない方々と、お茶飲み話に花を咲かせました。木籠の住民も直売所にいたりいなかったり。けれど、ちょっと煮物や漬物が沢山できたからと持って行って、たまたま通りがかったお客様に食べていただいて、「ありがとう、おいしかった」と喜んで頂いたり。また、郷見庵を訪れた方々に、偶然通りかかって地震の話をしなが、苦労をねぎらって頂き、励ましの言葉をかけてもらったり。こんな数々の出会いが木籠の住民を元気にしてくれました。

この度、郷見庵は立派な建物へと改築を始め、新しいスタートを切ります。けれど、私達がこれからも大切にしていきたいものは、自由気ままな木籠の時間。その流れにちょうどよく頃合いのとれた郷見庵での皆さんとのふれあいです。

「みんなの集まる所には私も仲間に入れてもらいてえよ。体の動く限りはね」「思いがけない、行き当たりばったりの出会いを大事にしたいです」プレハブの頃の木籠らしさは残しつつ、ちょうどその時立ち寄ってくださった方々と、ゆったり気楽に時間を共にしたい。そして思いがけない出会いに温かい気持ちを持ち帰ってくださればとても嬉しい。そんな日本の故郷、山古志木籠の郷見庵をこれからもよろしくお願いたします。



(右)地震後6年間みんなが集まった「郷見庵」(左)現在の休憩所・直売所

真夏の夜に 盆踊り ～集落に響く太鼓の音～

夜の暗闇にゆれるろうそく、ほのかな灯籠の明かり。集落に響き渡る力強い太鼓の音。夫婦ひのきに見守られ、ひっそりたたずむ集落の神社。萩や萱、山々の草木に飾られて、お供え物に人々の賑わい。今日は誰もが心弾み神社に足が向かいます。8月15日、地鎮祭の後は、みな笑って踊って、盆踊りで大いに盛り上がりました。

準備はみんな

集落の住民が集まって、のぼり立て、灯籠立て、草木を刈ってお宮様の飾りつけ、手際よくどんどん準備が進みます。今年は東洋大学の学生さんが準備作業からお手伝いに来てくださり、掃除やろうそく立て作りなどを手伝ってくれました。集落のお父さんお母さん方に教わりながら、一生懸命がんばってくれました。



ほら貝で 神主様をお連れして

ほら貝の音が神社へ出発する合図。みなほら貝の音に続いて神社まで歩きます。お盆に里帰りした懐かしい顔に賑います。



神主様方も一緒にお連れします。お祭り前に祝詞をあげていただくのです。そしていよいよお祭りの始まり～！

色とりどりの浴衣で盆踊り

～バーベキューや余興もいろいろ～



バーベキューで食事をしながら、まず余興で楽しませてくれたのが「五穀豊穡の舞」中村さん(左)と「がんばろうて山古志」児玉さん(右)。ふるさと会のお母さんがにぎったおにぎりと、東洋大や角突き後かけつけたお兄さん方の焼き肉、神社の清水に特大スイカ、おいしかった～。お腹いっぱい、さて、踊りましょう！

木籠の男衆が打ち鳴らす太鼓、この音が集落中に響き渡ります。



鳴り響く太鼓に、洪い声の盆唄。それに合わせて集落のお母さん達が浴衣姿でしなやかに踊ります。後に続いて私達も輪になって、ぎこちなくも楽しく踊って夜は更けていきました。



【盆踊り中唄い続ける伴大工さん】

今後の予定 (9・10・11月)

9月 10日(金)

・片貝花火ツアー予備調査

18日(土)

・山古志ウオークおもてなし協力

・案山子コンクール

23日(木)

・稲刈り

10月 23日(土)

・新郷見庵オープン(予定)

・収穫祭

11月 20日(土)

・蕎麦祭り

参加ご希望の方は、木籠集落区長までご連絡下さい！

ちまき・笹団子づくり

ふるさと会員の寺田さん、船久保陽子さんからこの日の感想をご投稿いただきました。こんな風に多くの会員が感動し、楽しい活動を続けたいですね。寺田さん、船久保さん御家族また木籠で待ってまーす！

「大変でした！ 笹団子作り」 船久保 陽子（加茂）

私はこの山古志のみなさんと一緒にやった笹団子作りがとてもいい経験になりました。私は家と学校でいちご大福を作ったことがあったので、「笹団子は 結構簡単にできるな」と思っていました。しかし実際にやってみると思っていたより大変でした。特にあんこを団子につめることが、すぐに皮が破れてしまってなかなかうまくいかないのです。地元の山古志の人たちは、スイスイとやっていて、驚きました。大変だったけどいい経験になってよかったです。



【去年より皆手際よく、早くなりました】

ありがとう「楽しかった一日」 寺田 英夫（静岡）
 今日久しぶりの山古志である。家を出たのが朝の4時、眠い目をこすりながら一路山古志へと走った。気分はもう木籠である。
 私は「粽づくり」は初めてである。いよいよ笹取りから始まった。地元のおばあちゃんが先頭に立っての料理教室である。団子を作るもの、ある人は蒸かす役目、また不足する笹を取りに行く者と、人それぞれに仕事を分担しての取り組み。昔を思い出し、わが子に教えるように「おばあちゃんの顔と手に」元気が出ている。本当にこれが木籠集落のいいところだ！「団子やもち米を笹に包んで、イグサで縛っていく」簡単なことだが今の私達にはとても難しい。「やっと出来たー」という声も上がる。
 自己紹介で、ある女性が粽に母親を思い出し涙ぐむ。聞いている仲間も思い出しているんだろう。みんな潤んだ目である。
 「こんなにも笹団子づくりが「人の心をつなぐんだ」と実感した。今日一日は、これもあれも本当の「日本のふるさと」を感じたところであった。
 ※紙面の都合上、文章の一部を掲載いたしました。

木籠の夜空に願いを... ☆七夕祭り☆

7月3日、今年も沢山の願い事と色とりどりの七夕飾りで4本の竹がいっぱいです。手作りの飾りも年々工夫を凝らし、見事なものになってきました。郷見庵を訪れた方々にも願い事を書いていただき、みんなで竹に結びます。

「宝くじ大当たり」「息子に嫁を」など、ユニークな願い事から「家族が健康でありますように」「また木籠でみんなに会えますように」と日常の穏やかな暮らし、ちょっとした楽しみを願った人も多かったです。お昼御飯もそれぞれが持ち寄った手作りのご馳走でテーブルがいっぱい。みんなで賑やかな御飯の美味しいこと。震災から6年、こうしてみんなが集まれるって本当にありがたい、素晴らしいことですね。



中村さんのご指導で「五穀豊稔の舞」を練習。「ふるさと会 芸能部」誕生です！

☆児玉民彦さん ミニライブ☆



闘牛場でいつも耳にする歌声。一緒にくちずさんだ人も多いことでしょう。この日、児玉さんもふるさと会に仲間入りし、急遽その歌声を御披露いただきました(^v^)

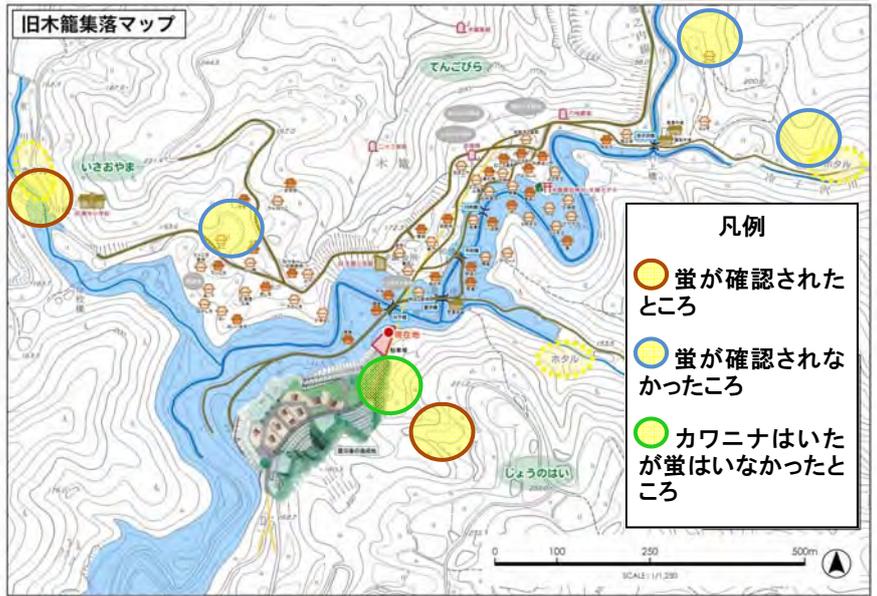
“がんばろうて～木籠”



ホタルの調査

6月26日(土)集落内の蛍の調査を行いました。震災前に集落に蛍のいた場所2か所と、地元の人の話で蛍が最近出現するという場所4か所を調べました。以前蛍がいた場所は護岸工事をしたところが多く、蛍のえさとなるカワナがいないため、蛍を確認できませんでした。しかし、高台の休耕田に数十匹と、以前生息していた芋川に数匹確認することができました。今後蛍に適した環境づくりができると良いと参加者の間で話をしました。

(左)ホタルブクロと蛍
(右)平家蛍の光
(下)蛍のえさとなるカワナ



(右)集落の方と昔蛍がいた川を調べる (左)沢山の方が集まって観賞会をしました

蕎麦まき

猛暑のお昼、区長さんの奥様、ふるさと会の斉藤夫妻、石井さんと今年も蕎麦をまきました。この日は朝から暑い中、集落の方々は道普請をしてひと仕事終え、午後からご自身の畑に出る姿もありました。道普請は重労働。ふるさと会の参加者は少なく残念でしたが、午後は力を振り絞って何とか蕎麦をまきました！



←畝つくり(左)

夫婦蕎麦まき(右)→



錦鯉稚魚の放池

山古志といえば錦鯉！いつかは挑戦したいという念願叶い、5月、錦鯉の稚魚を放しました。今の所、ほぼ自然任せに育てていますが、始めは目で確認するのも難しいほど小さかった稚魚が、写真で撮影できるほどになりました。今後錦鯉にする選別が行われます。



錦鯉の稚魚(右)
鯉が放してある池(左)

募集

平成23年度ごもカレンダー作成の為に木籠の写真をいただけませんか！

形式：デジタルデータ (JPG形式、PDF形式など、パソコンで見られるデータ)

であればどのような形式でも結構です。) または、プリントした写真。

写真はA4サイズに引き伸ばす予定です。画素数の高いデジタルデータ写真があればお願いします。

タイトル・コメント：写真にタイトルとエピソードを20~50字ほどでお願いします。

撮影日：平成21年10月から平成22年9月に木籠で撮影したもの。写真を撮影した年月日を記載して下さい。

締め切り：10月初旬

問い合わせ：■山古志 木籠集落 区長 松井治二 (FAX/電話) 0258-59-2180

■山古志木籠ふるさと会 事務局 担当：石井秀次

(Eメール) cid85830@syd.odn.ne.jp

写真送付先：<デジタルデータの場合> Eメールにてお願い致します。

(Eメールアドレス) yonezawa@rpi-h.co.jp 米澤宛

<プリント写真の場合> 郵送にてお願い致します。

(住所) 〒170-0004 東京都豊島区北大塚 1-19-12 大塚ゼネラルビル

(株)地域計画連合 山古志 木籠集落 準区民の会 事務局 米澤宛

注意：①頂いた写真は厳選なる審査の上、事務局で選ばせて頂きます。②頂いた写真はカレンダー以外では使用致しません。

③カレンダーへの写真の使用に関しましては、無料でご提供お願いいたします。

皆様のご提供心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願い致します!!



平成22年ごもカレンダー